



「ノロウイルス食中毒の予防」

ノロウイルスによる感染性胃腸炎や食中毒は、一年を通して発生していますが、特に冬季に流行します。ノロウイルスは手指や食品などを介して、経口で感染し、ヒトの腸管で増殖することで、嘔吐、下痢、腹痛などの症状につながります。軽症で回復する方もいますが、子どもやお年寄りなどでは重症化する場合があります。

主な予防対策としては、(1)手洗い…手指に付着しているノロウイルスを減らす最も有効な方法です。当たり

前のことですが、食事や調理の前、トイレに行った後などはしっかり丁寧に手を洗いましょう。(2)加熱調理…一般的にウイルスは熱に弱く、加熱処理はウイルスの活性を失わせる有効な手段です。ノロウイルスの汚染のおそれのある二枚貝などの食品の場合は、中心部が85℃～90℃で90秒以上の加熱が望まれます。また、嘔吐や下痢などの症状がある方は、食品を直接取り扱う作業をしないようにしましょう。(栄養管理室 三山 朋子)



2病棟★紹介



小児病棟では、急性期の患者様から慢性期の患者様まで様々な疾患を持った患者様が入院しています。退院される患者様は元気に回復される場合と、引き続き退院後も医療的なケアが必要な患者様がいます。引き続きケアが必要な場合、人工呼吸器の装着、酸素療法、痰の吸引、胃や鼻からチューブを使って栄養を注入するなど、医療的なケアが必要な患者様もいます。2病棟では、入院後に医療的ケアが必要となった患者様のご家族に対し、自宅でも困らないよう家族が不安なく安心して退院できるよう支援を行っています。必要な処置や医療的な手技の指導を段階的にご家族へ指導を行います。退院が近くなったら、病室を自宅と想定し、家族に付き添いをしていただきながら自宅で行うケアを実践していただく機会をすることで、ご家族の不安軽減に努めています。



今後も医療的ケアが必要な患者様やそのご家族が安心して自宅で療養生活が送れるよう、スタッフ一同支援していきたいと思います。

また急変時の対応についても家族に指導をしています。写真は看護スタッフと、担当医師と一緒にご家族へモデル人形を使用して心肺蘇生方法の指導を行っているところです。

(2病棟看護師長 森川 祐子)



2病棟

子どもたちの生活のひとコマ

本格的に寒さが増し、朝布団から出るのもつらい毎日です。早いものでもう12月ですね。12月といえば、やっぱり何といてもクリスマス! そこで2病棟では、ギャラリー製作会としてクリスマスオーナメント作りを行いました。子どもたちがそれぞれ、ツリーや雪等のイラスト枠にお花紙やカラーセロハン、シールを貼り付けたり、ペンで色を塗ったりして作品を仕上げました。みんなの個性あふれるすてきな作品は、売店近くの窓側に飾ってあります。通る機会がありましたら一度足を止めて見てみてください。クリスマスの華やかな気分が味わえると思います。



今年も残りわずかです。体調に気をつけてこの冬も乗り切っていきましょう。

(児童指導員 平田 真理子)

★☆☆☆☆ やまばとギャラリー 情報コーナー information

今月の作品は「クリスマスオーナメント」です。患者さんによって作る飾りの種類はさまざまで、色とりどりの個性豊かな作品たちができあがりました。是非やまばとギャラリーへ足を運んで、クリスマス気分を味わってくださいね。



(児童指導員 森 日奈子)

1病棟のせいかつ

1病棟の10月の行事としてハロウィンパーティーを実施しました。

看護師と共にかぼちゃやお化けのお絵かきやぬり絵をし、壁いっぱい飾りつけを行いました。

他にも輪投げとジェスチャーゲームを楽しみ、みんなで和気あいあいと、たくさんの笑顔がみられたパーティーになりました。

(1病棟行事係)

